

絵手紙サークル「紅の会」

代表 菅原 勇さん 会員 9人



絵 手紙は、手書きで描かれた、野菜やくだものなどのへたうまの絵と短い文章で、送られた人の心をほっこりさせる手紙です。その素晴らしさに感謝した皆さんが集まり発足したのが絵手紙サークル「紅の会」。

結成のきっかけは、2000年の有珠山噴火の時、噴火見舞

いとして日本絵手紙協会の皆さんにより、絵手紙の体験教室が開かれ、教育委員会がそれを引き継ぎ同教室を6回開催。そこに参加した15人が、さらに続けていこうと同サークルを結成しました。

現在は、4月から12月までの期間、母と子の館で月1回例会を開催。噴火当時ボランティアで講師をしていた日本絵手紙協会公認の高橋伸江さん（札幌市在住）が、今も指導されています。高橋さんは「会員の皆さんは、協会公認の資格を取っていませんが、充分その資格がある」とその実力に太鼓判を押します。

年間の主な活動としては、「戦争と平和のパネル展」での展示や「総合文化祭」（洞爺湖町文化団体協議会主催）への参加、町内での会主催の展示会などです。

代表の菅原さんは「電子メールなどには出せない、送る人の人柄や温かみを感じられる」と絵手紙の魅力を語ります。

興味、関心のある方は、菅原勇代表（☎76・1506）へ連絡ください。

東奔西走

本格的な観光シーズンを迎えました。景観や食など町の特色生かした様々な取り組みが始まっています。

広報では、今後そんな取り組みを紹介し、観光立町として発展していくための方策を考えていきたいと思っています。

仲間のわのコーナーに紹介を希望する団体がありましたら、連絡をお願いします。（H.O）

人口と世帯の動き 3月31日現在

男	4,530人 (△55)
女	5,272人 (△24)
計	9,802人 (△79)
世帯	5,091世帯 (△32)

今月のワンショット



洞爺湖ビジターセンター主催の自然ふれあい行事で春をさがして金毘羅火口を歩く皆さん